

第1回 NITS 大賞（平成 29 年度）エントリーシート

新潟県佐渡市河原田小学校

C-2

【活動名】 かかわり合って考えを深める授業の工夫

解決すべき課題：

今まで当校の校内研修は、数値目標達成へ向けての手だてや結果を重視する傾向にあった。年 10 回の全校漢字テスト・計算テストを実施するなど、基礎学力重視の方策を取ってきた。その結果、漢字・計算などの基礎学力は定着し、教研式 N R T 標準学力検査では全国標準偏差値 50 にどの学年もほぼ達していた。しかし、全国学力・学習状況調査では全国平均正答率を下回る教科があり、特に国語 B や算数 B など活用に関する問題は、全国平均に達しない状況が続くなど、考えを深め思考力を高める学力が付いていなかったことが課題である。また、子どもの学びへの意欲は高いとはいえず、教職員も「公開授業を年に 1 回行えばよい。」と思うなど、研修への意欲が低かったことも重要な課題である。

目的や背景：

研修スタイルを変える 教職員が「チーム河小」として学び合う学校を目指し、前向きに授業改善に取り組み、同僚性が高まるような研修スタイルに変える。年間を通しての研修という意識を高めるために、校長をはじめ教職員全員が個人研修テーマを立てる。授業研究を年間 3 回とし、指導案は A 4 裏表の略案で、事前検討会はせず、授業者の提案を大切にす。授業者が希望する指導者を招聘する。研究協議会では、「子どもがどこで学んでいたのか、どこでつまづいていたのか」という子どもの事実で協議する。授業のよさを共有できるように、研究推進部で「研修だより」を作成し、夏季休業中にはレポート等を用いて全体研修の場を設定する。全職員で目指す子ども像を共有し、重点目標を一新するとともに、校内研修テーマ「かかわり合って考えを深める授業の工夫」の研修を積み重ねる。

活動内容：

1 授業改善の取組

(1) 「教える」授業から「学ぶ」授業へ転換する。

授業では、教師の役割として「聴く」「つなぐ」「もどす」を大切に、全職員で共通理解し実践する。座席をお互いに顔が見える「コの字型」や「扇型」等にし、子ども同士の対話が生みやすいような隊形を工夫する。聞き合う雰囲気づくりや関係づくりを行うために、ペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れる。授業の振り返りを重視し、「学習のまとめ」「今日の学び」等としてノートに書く活動を取り入れる。

(2) かかわりを生むための手だて・・・分からないことや困ったこと、課題解決の見通しにかかわることなど、子どものつづやきを丁寧に拾い、吹き出しとして板書に残す。つづやきを視覚化することで子ども同士の考えをつなぐようにする。

(3) かかわり合う必然性を生む課題づくりやレベルの高い課題づくり・・・発展的な課題やレベルの高い問題に取り組みさせる。（ジャンプ課題）

2 教師の専門性を高める取組

(1) 教材研究の日の設定・・・毎週水曜日の放課後は会議や課外活動を入れないようにし教材・教具づくりや質の高い課題づくりのための時間を設定する。

(2) 外部講師の活用・・・1 年間で 3 回行う公開授業のうちの 1 回は全体研修で行う公開授業として、外部講師を招聘し研修を深めるようにする（平成 23 年度に「学びの共同体」の提唱者である学習院大学教授の佐藤学氏を招聘）。外部講師は授業者の希望を最優先する。

(3) 視察研修への参加・・・筑波大学附属小学校、茅ヶ崎市立浜之郷小学校、県内の先進校等の視察にでかけ、情報を持ち帰り全職員で共有する。

3 異学年で学び合う学習の場（「みんなでまなびたいむ」）の設定

第 3 水曜日の 6 限に 3 年生以上の縦割り班で学び合う学習時間を設定する。異学年間で「ここをどうするの？」等の話し合う時間を設定することで、前学年や次学年の学習につながっていることに子ども自身が気付くようにする。低学年は補充学習の時間とし、地域の学習ボランティアに依頼する。

4 保護者への発信

保護者に、学び合う授業のよさを伝えるため、お便りで授業の様子を紹介したり、参観日には保護者参加型授業を行ったりした。「算数日記」や「授業再現ノート」を家庭学習とし、授業の様子を分かるようにする。また、時には保護者と一緒に考えてもらうような発展問題を課題に出した。

活動の成果：

1 児童の学習意欲向上及び教職員の研修に対する意識の変化

(1) 「勉強が好き」が答える子どもが年々増え、全国学力・学習状況調査の質問紙でも、「国語・算数の学習が好き」と答える子どもの割合が増えてきた。（6 年児童算数アンケートより「二学期は班のみんなで考えることが多くて自分だけでは思いつかない方法や協力して問題を解いていくことや新しい発見があっておもしろかったです。」全国学力・学習状況調査児童質問紙より「国語の勉強が好きですか？」70%（H28） 93.8%（H29）「算数の勉強は好きですか？」70%（H28） 87.6%（H29））

(2) 教職員の研修に対する意識が高まってきた。（研修後の職員の声「3 回の研究授業を通して、自分のくせや教材研究のポイントが見つかった。日々の授業力向上につながっている。教師の子どもを見る目も育っている。」「教師主導だった授業から、子どもたち同士でかかわって話を進めようという意識が生まれた。」「見えないものが見えてきた。子どもの学び方が分かった。教師は勉強するしかない。」「職員室でも研修について話題が上がる機会が増えた。教師間で課題を『共有』しておりつながっていると感じる。」「子どもたちは難しい課題に挑戦する楽しさを感じるようになった。すぐにあきらめなくなった。」等）

2 学力の向上

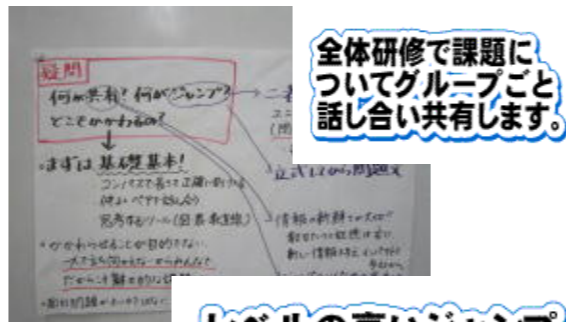
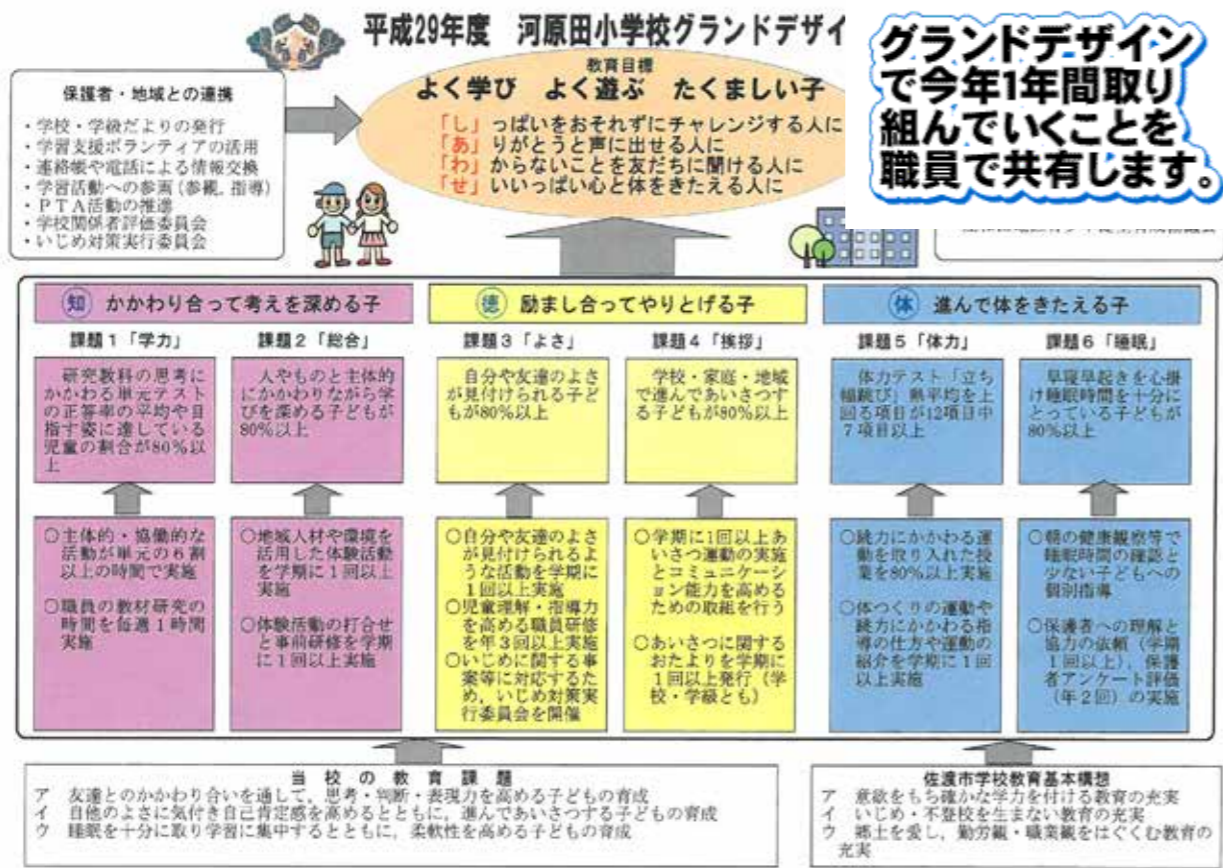
「かかわり合って考えを深める」授業を重視してきた結果、思考力・判断力・表現力が高まり、成果として現れてきた。（全国学力・学習状況調査問題で、全国平均正答率に届かなかった教科も、平成 25 年度以降はどの教科も全国平均を 10 ポイント程度上回るようになった。）

アピールポイント（アイデア）：

1 一人年間 3 回の公開授業を行ったことで職員の意識が高まってきたこと。（職員の声「希望する教科の専門家の指導者が来るので勉強になる。」等）

2 子どもたちが縦割り班で学び合う時間を設定したこと。（「みんなでまなびたいむ」を参観した学習ボランティアの方から「縦割り班で学習しているのはめずらしいですね。異なる学年の子どもがお互い教え合ったり聞いたりする姿がとてもいい雰囲気だと思いました。」等の意見をいただいた。）

3 かかわり合って考えを深める授業に取り組んでから、全国学力・学習状況調査でどの教科も全国平均を大きく上回るようになったこと。（H29 は、+12.8）



研修☆便り

河原田小学校 NO.2 平成29年6月12日

今年度の個人研修テーマを紹介いたします。年間を見通し、「考えを深める子どもの姿」を共有しながら、日々を大切に、継続的な研修にしていきたいと思います。

個人研修テーマ一覧

	氏名	教科領域	研修テーマ
校長	川上 治男	学校経営	思考力を高める授業づくりに意欲的に挑戦する教職員を育てる学校づくり
教頭	宮川 秀一郎	学校運営	かかり合って考えを深め、思考力を高める授業の具現に向けた教職員の指導・助言の在り方
教務主任	松本 真一郎	社会	どの子ども社会的思考力を深める社会科の授業づくり
1 K	本間 恭子	国語	かかわりの中で考えを深め、進んで表現できる力の育成
2 K	藤井 佐代子	音楽	自他の表現を認め合い、楽しんで音楽表現のできる授業
3 K	三浦 美和	国語	伝え合い、聴き合って考えを深める授業づくり
4 K	宇佐美 陽子	国語	子どもが自ら考えを深められるような課題提示の工夫
5 K	渡邊 あずさ	社会	中心発問づくり
6 K	小田 祐樹	算数	子どもの「問い」を引き出す課題提示の工夫 発表・説明の工夫による全員参加の授業
あゆみ	能村 利栄子	国語	個々の良さを生かしてかかわり合う活動を取り入れた指導の工夫
つぼみ	久保 元	算数	個に応じた授業展開とかかわり合う場面設定の仕方
養護教諭	上條 有子	保健室経営	学校保健活動を組織的に推進するための養護教諭のコーディネーション行動

※ 八幡小・二宮小・沢根小の研究授業の案内を回覧しています。ご希望あればお聞かせください。

研修☆

河原田

13日(月)の中学校区訪問は、今年度の河原田小4年間、以下のような日程で研究授業を進めていきます
「かかり合って考えを深める」授業づくりを進め、互い

☆研修計画(予定)☆

日時	教科	授業者	協議会
5月13日(月)5限	社会	松本	全体(中学校区)
5月13日(月)5限	算数	金子	全体(中学校区)
5月22日(水)3限	音楽	首藤	フリー
6月6日(木)3限	算数	富樫	フリー
6月12日(水)3限	算数	相田	フリー
6月19日(水)2限	家庭科	小沼	フリー
6月21日(金)5限	生活単元	三浦	全体
6月24日(月)3限	算数	白井	フリー
6月27日(木)3限	算数	中川	フリー
7月4日(木)2限	音楽	首藤	フリー
7月8日(月)2限	理科	濱田	フリー
7月9日(火)3限	算数	金子	フリー
9月4日(水)5限	社会	松本	フリー
9月9日(月)5限	家庭科	小沼	全体
9月24日(火)3限	生活単元	三浦	フリー
10月9日(水)5限	算数	金子	全体
11月1日(金)3限	生活単元	三浦	フリー
11月11日(月)5限	家庭科	小沼	フリー
11月13日(水)5限	音楽	首藤	全体
11月22日(金)5限	算数	相田	全体(県小教研)
11月22日(金)2限	算数	中川	全体(県小教研)
11月26日(火)3限	社会	松本	フリー
11月28日(木)5限	算数	富樫	全体
12月5日(木)2限	理科	濱田	フリー
12月10日(火)3限	算数	白井	フリー
1月20日(月)5限	算数	富樫	フリー
1月23日(木)5限	算数	白井	全体
1月28日(火)3限	算数	金子	フリー
1月29日(水)3限	算数	相田	フリー
2月6日(水)3限	算数	中川	フリー
2月10日(月)5限	理科	濱田	全体

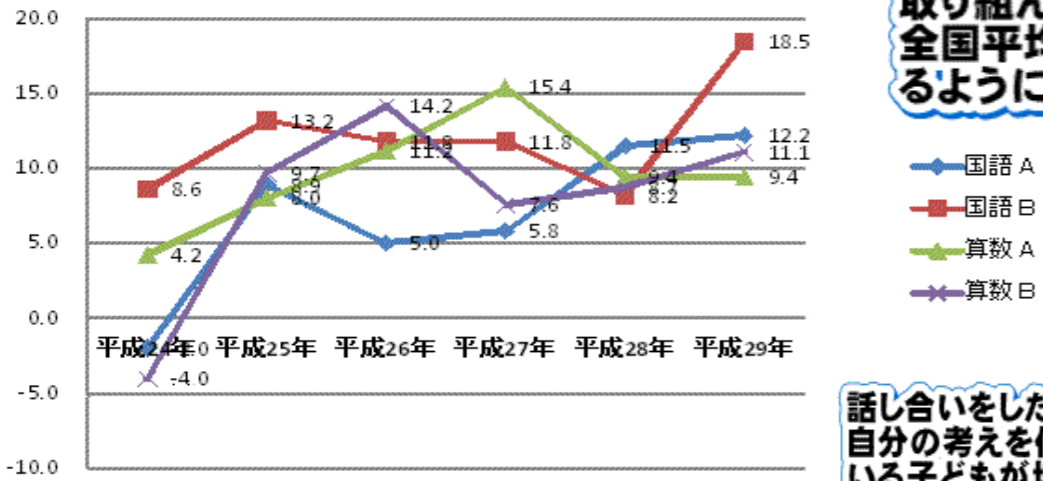
※出張等の都合で日程が変わっているところがあります。ご確認ください。
※全体研修では講師を招聘します。都合によって日程が前後するときはお話し合いをします。担当の知育部員が、「研修便り」を作成します
※フリー参観での協議会は、校長先生・教頭先生・授業者・知育部1名・その他



みんなで学びたいむは、縦割り班で学習します。分からないことはアドバイザーをもらいながら取り組みます。

年間3回行う公開授業のうち1回は、希望する外部講師から見いただきます。

全国学力調査 全国平均との差の推移(全国平均が0.0)



この研修テーマに取り組んでから全国平均を超えようになりました。

話し合いをしたり発表したり自分の考えを伝えていたりしている子どもが増えています。

【平成29年度全国学力・学習状況調査質問紙より】

質問項目	全国	県	当校	全国比
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。	52.9	55.1	75.0	+22.1
授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。	46.9	55.6	75.0	+28.1
授業では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。	34.5	41.2	62.5	+22.9